令和7年度　奈良県総合医療センター

医療事故・ヒヤリハット　分類別　合計発生件数　（転倒・転落を除く）

事故の分類	合計（件）	構成比（%）
薬剤	1,645	38.6%
輸血	44	1.0%
治療・処置	199	4.7%
医療機器	293	6.9%
ドレーン、チューブ	499	11.7%
検査	519	12.2%
療養上の世話（転倒転落以外）	364	8.5%
その他	696	16.3%
合計	4,259	100.0%

医療事故・ヒヤリハット　レベル別　合計発生件数　（転倒・転落を除く）

レベル分類	合計（件）	構成比（%）
0	1,139	26.7%
1	1,391	32.7%
2	1,026	24.1%
3a	610	14.3%
3b	84	2.0%
4	1	0.0%
5	8	0.2%
合計	4,259	100.0%

（参考）医療事故等の分類（転倒・転落を除く）

レベル	傷害の継続性	傷害の程度	傷害の内容と基準
0	－	－	エラー・不具合に気づき、患者には実施されなかった
1	なし	－	エラー・不具合に気づかず実施したが、患者への実害はなかった
2	一過性	軽度	行った医療または管理により、患者に影響を与えたが、処置や治療を要しなかった
3a	一過性	中等度	行った医療または管理により、本来必要でなかった簡単な処置や治療（消毒、湿布、鎮痛剤投与等の軽微なもの）を要した
3b	一過性	高度	行った医療または管理により、本来必要でなかった濃厚な処置や治療を要した
4	永続的	軽度 ～ 高度	行った医療または管理により、永続的障害が残った 障害が軽度から中等度の場合は4a 障害が中等度から高度の場合は4b
5	死亡	－	行った医療または管理により、死亡

令和7年度　奈良県総合医療センター

医療事故等（転倒・転落）　レベル別　合計発生件数

レベル分類	合計（件）	構成比（%）	R6年度（件）	R7-R6（件）
A	230	61.7%	315	▲ 85
B	122	32.7%	123	▲ 1
C	12	3.2%	6	6
D	9	2.4%	13	▲ 4
E	0	0.0%	0	0
F	0	0.0%	0	0
合計	373	100.0%	457	▲ 84

（参考）医療事故等の分類（転倒・転落を除く）

レベル	傷害の程度	傷害の内容と基準
A	なし	患者に損傷はなかった
B	軽度	包帯、冷湿布、創傷洗浄、四肢の挙上、局所薬が必要となった、あざ・擦り傷を招いた
C	中軽度	皮膚接合テープ・皮膚接着剤、縫合、副子が必要となった、または筋肉・関節の挫傷を招いた
D	重度	骨折をきたして、ギプス、牽引、手術が必要となった、または神経損傷・身体内部の損傷のため治療が必要となった
E	死亡	転倒による損傷の結果、患者が死亡した
F	不明	記録からは判定不可能